



すてぃる

SPECIAL STEEL

March/2004

目次

● 特集 平成16年『賀詞交換会』開催

● 平成16年『賀詞交換会』開催	1
● 突然おじゃま 原 博康 東泉鋼機(株)・取締役社長	7
● 私の愉しみ 渡邊洋一 (株)ユアーズスチール・代表取締役	9
● 理事会・委員会報告	10
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号（鉄鋼会館）

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

(社)全日本特殊鋼流通協会 平成16年『賀詞交換会』開催



機動性・創造性を発揮して本格的な業績回復を！

全特協では1月23日（金）、東京・グランドヒル市ヶ谷で約400名の参加を得て、賀詞交換会を開催しました。

冒頭、三上聰彦会長は「昨年は好調な自動車産業や建機・工作機械等の活況により、旺盛な特殊鋼需要の一年だった。しかし、夏以降は原材料の高騰により、メーカーでは利益確保も厳しい状況にあり、また、流通業者間では企業収益も改善に向かっているものの、業種間、地域間での格差がみられるなど、本格的な回復にはいたっていないのが現状だ。本年は、引き続き旺盛な特殊鋼需要が予測されているものの、原材料の高騰を受けての価格改定については、製販一体となってさらに粘り強く取り組んでいかなければいけない。われわれも、流通ならではの機動性と創造性を如何なく発揮して、昨年にもまして業績回復の年となるようにしたい。」と抱負を述べました。

引き続き、来賓を代表して糟谷敏秀経済産業省鉄鋼課長が祝辞を述べられ、高山剛特殊鋼倶楽部会長のご発声で乾杯。平成16年の門出にふさわしい、賑々しくも和やかな雰囲気の中、賀詞交換会となりました。

ご来賓祝辞

人材力・結束力をフル活用され 経営基盤強化になる躍進の年に

新年あけましておめでとうございます。

昨年夏以降の鋼材の生産推移につきましては、特殊鋼の数量が対前年同期比および対前月比ともに順調に伸びてきており、非常に力強いものを感じております。

他方、伺うところでは「量は増えているが利益に結びつかない」とおっしゃる方々が意外にも多く、こうした“利益なき繁忙”といった問題が一番の課題であると感じています。そのため今年は、その忙しさが体力を蓄えるため役立つものとなるよう改善していかなければなりません。

さて、いろいろな場面で全特協の方々とお話をさせていただき、またそのなかでおすすめもあり、過去の特殊鋼流通の歴史でありますとか、いくつかの会社の社史も読ませていただきました。そこで感じますのは、特殊鋼流通の世界というのは非常に“人づくり”を大事にされているということです。特殊鋼販売・加工技士制度につきましても、長きにわたって非常な成果を上げてこられていますし、特殊鋼の勉強会などをいろいろな形でいろいろな方が行っていると思います。さらには、会長のご紹介にもありました通り、目先のビ



経済産業省製造産業局 鉄鋼課長
糟谷 敏秀 様

ジネスだけに追われるだけでなく、中長期的な特殊鋼流通のありかたや将来展望を描くような活動も行われています。また、海外調査事業ということで毎年、海外の競争相手の調査視察も精力的に行われています。これらの活動が、単に目の売上げだけではなく、まさに業界とそれに関わる人の視野をひろげて、特殊鋼流通業界が中長期的に発展できる基盤を意識的に作っておられると思います。それから、“和”といったことをキーワードに、まとまりのある非常に結束力の強い業界であることをいろいろな機会に感じます。今年はこうした結束力に加えて、これまでに培われてきました非常に“ホット”な人材力をフルに活用されて、数量の伸びをさらなる業界の発展につながる経営基盤に結びつけていただきたいと願う次第でございます。

全特協会長「年頭のあいさつ」

価格改定にも取り組み量的にも質的にも躍進の年に！

(社) 全日本特殊鋼流通協会

三上 聡彦会長あいさつ



皆様、新年明けましておめでとうございます。

会員、賛助会員の皆様、またご来賓として公務大変お忙しいなか、経済産業省鉄鋼課課長糟谷様はじめ鉄鋼課の皆様、社団法人特殊鋼倶楽部会長高山様はじめ業界団体の皆様、さらには報道関係の皆様多数のご臨席を賜り、ここに大変賑やかに平成16年の賀詞交換会を開催することができ厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の特鋼業を顧みますと、好調な自動車生産や、しばらくの間低操業に苦しんでおりましたトラック、建設機械、工作機械業界が活況を呈し、またIT関連事業の復調等により特殊鋼需要も旺盛となりました。特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は一昨年の記録を更新、実に1,880万トンに迫る勢いで数量的にはこれまでにない明るい一年であったかと思われまします。しかしながら、夏以降の鉄スクラップ、ニッケル等の生産原料の急騰により、メーカーは利益を圧迫され下期では利益確保もなかなか厳しい状況にあると聞いております。

我々流通にとりましても、業績回復のきっかけ作りの年とすべく販売価格の改定、流通コストの見直し等、各社が懸命に経営努力を続けました結果、僅かずつではありますが企業収益も改善に向かっております。ただ、大企業に比べますと中堅企業の多い我々特殊鋼流通加工業の改善の度合いは低く、業種間、

地域間での格差が見られるなどまだまだ本格的な回復にはいたっておりません。

本年の展望につきましては、引き続き特殊鋼の需要は堅調でメーカーの生産も昨年並みと予測されております。しかしながら、原料の高騰もありメーカーからの価格改定は昨年にも増して更に進んでおります。我々流通といたしましても、お客様にこの実情を理解していただくべく努力の上に努力を重ねる覚悟で価格問題に対処してしなければなりません。本年は、流通としての機動性、創造性を如何なく発揮して昨年にも増した業績回復の年といたしましょう。本日は、各メーカーの皆様にご多数ご出席いただいておりますが、ともすれば価格改定しやすい流通店売り向けに限らず、どうか大手ユーザーへの改定にも本腰を入れて臨んでいただきたいと存じます。量的にも價格的にも製販一体となり、平成16年を名実ともに躍進の年といたしましょう。

なお、この場をお借りして全特協が取り組んでいる事業についてご報告させていただきます。本日12時から約2時間にわたり、鉄鋼課の糟谷課長はじめ鉄鋼課の皆様と当協会の運営委員会とで懇談の場を持ちました。そのなかで、特殊鋼製造業の競争力強化と将来展望に関する研究会の検討状況につきご報告をいただき大変心強く感じております。現在、協会でも3カ年の中期計画に沿いまして「流通加工業の現状把握と将来ビジョンに関する調査研究事業」を進めておりま

す。これは、2010年をターゲットにした特殊鋼流通加工業のあるべき姿を仮想し、それへの企業対応、業界対応を提起するもので調査研究委員会にワーキンググループを設置し、検討を進めております。まず本年度は、その総論的なまとめを行い、来年度は鋼種別のとりまとめを行い、全特協会員の発展の指針となるような事業にしたいと考えております。

また、大坂支部では一昨年より支部事業をより活性化するために地域ごとのブロック会議を数回にわたり開いております。東京支部でも昨年12月に、城北地区で初めてブロック会議が開催され、貴重なご意見を多数頂戴いたしました。こうした活動からも、広く会員の声に耳を傾け、本部・支部運営に活かして参りたいと思います。どうか本年も当協会にご支援、ご協力下さいますようお願い申し上げます。各社のご隆盛とご参会の皆様方のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして年頭のごあいさつとさせていただきます。



(社) 全日本特殊鋼流通協会 賀詞交換会

平成16年1月23日(金) グランドヒル市ヶ谷

乾杯あいさつ

(社) 特殊鋼倶楽部会長 高山 剛 様

昨年同様、特殊鋼は好調な自動車産業や設備投資の回復を背景にし、今年も堅調な生産推移が見込まれています。ただし、課題となりますのは、中国発の原料インフレを主要因とする価格問題で、これにつきまして今後私どもは、さらなる努力を続けていかなければなりません。製造単価や流通単価で吸収するのも不可能なレベルまできております。今後は、ユーザーの協力が得られるよう、製販協力して価格問題に対処してゆきたいと思っております。





中締めあいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会・東京支部長 竹内 誠二

今年は、少しずつではありますが景気の回復も期待され、明るい兆しの見える年であります。今年の干支である申年には、おおむね株価も上昇傾向であった前例があり、また、オリンピックの年には世界経済のなかで何らかのインパクトがあるということも、大いに期待されます。上昇基調をうまく繁栄と安定に結び付けられるようがんばっていきましょう。

各支部でも賀詞交換会、新たな出発を誓う

東京支部

新年賀詞交換会

日 時：平成16年1月23日(金) 18:00～20:00

開催場所：グランドヒル市ヶ谷

出席者：400名

内 容：協会との合同開催。

大阪支部

特殊鋼三団体共催 平成16年新年賀詞交換会

日 時：平成16年1月5日(月) 11:30～13:30

開催場所：リーガロイヤルホテル

出席者：758名

内 容：(社)特殊鋼倶楽部大阪支部と大阪ステンレス流通協会との合同開催。近畿産業局産業振興部製造産業課長・池上博之様および、大阪府商工労働部商工振興室地域産業課課長・榎田文雄様出席。



樋口支部長挨拶 [(株)鉄鋼工業新聞社提供]



司会の小山鋼材(株) 小山社長

名古屋支部

新年賀詞交換会

開催日時：平成16年1月9日(金) 18:00～19:30

開催場所：名古屋観光ホテル

参加者：370名

主催：(社)特殊鋼倶楽部名古屋支部(担当)、名古屋ステンレス流通協会
(社)全日本特殊鋼流通協会名古屋支部の3団体共催

内容：当日は主催者側を代表して特殊鋼倶楽部名古屋支部の斎藤支部長(愛知製鋼 参与)より来賓としてご出席いただいた青山全ス連会長の叙勲のお祝いと、世界一の機能を誇る日本の特殊鋼を製販ともに自信をもって販売していこうとの挨拶がありました。その後、来賓を代表して、経済産業省 中部経済産業局 松岡参事官より挨拶があり、つづいて名古屋ステンレス流通協会の林理事長(リントツ会長)の乾杯の音頭で和やかなうちに懇談が始まりました。

最後は全日本特殊鋼流通協会名古屋支部の川本支部長(川本鋼材代表取締役)の威勢よい3本締めで盛会のうちに閉会となりました。



中締めの川本支部長

東北支部

新年賀詞交換会

日 時：平成16年2月6日(金)

開催場所：仙台国際ホテル

出席者：44名

内 容：菊地支部長による年頭挨拶に始まり、三上会長の来賓挨拶を福森専務理事が代読され、大同特殊鋼(株) 工具鋼販売部部長 宮地様よりご挨拶と乾杯の音頭を賜り開会。その後、日立金属(株) 北日本支店営業課長 東二町様による中締めで散会。初めてのOB4人の参加もあり、約半数の方々が会場のホテルのバーでの二次会に参加され、大変盛り上がった賀詞交換会となりました。



北 関 東 支 部

新年賀詞交換会

日 時：平成16年2月11日（金） 18：00～19：30

出席者：25名

内 容：三上会長も出席されました。賀詞交換会に先立ち、大同特殊鋼洪川工場見学会を実施し、深谷工場長から操業状況等説明していただきました。市況懇談会では、特殊鋼メーカー4社から今後の展望などについて話をお聞きました。



三上会長あいさつ



長谷川支部長あいさつ



会場風景

〔株〕特殊鋼産業新聞社提供〕

静 岡 支 部

新年賀詞交換会・講演会

日 時：平成16年1月23日（金） 15：00～

開催場所：中島屋ホテル

出席者：23名

内 容：賀詞交換会に先立ち講演会を開催。

テーマ：「日本経済の回復は本物か？」

講師：東京大学大学院教授 伊藤 之重氏



日立金属（株）東海支店静岡営業所 加太所長の乾杯の挨拶

九 州 支 部

特殊鋼二団体共催 新年賀詞交換会

日 時：平成16年1月8日（木）

開催場所：博多全日空ホテル

出席者：184名（内：全特協29名）

内 容：賀詞交換会に先立ち、支部運営委員会を開催して、平成16年度支部活動計画について審議しました。

突然おじゃま



東泉鋼機(株) 取締役社長／原 博康

東泉鋼機(株)は、昭和42年設立の工具鋼に販売主力をおく特殊鋼の加工・販売会社。ユーザーは静岡県東部の金型メーカーを中心としており、特にフレームハード鋼を得意とし、取扱高は県下随一を誇る。

今号でおじゃました原博康社長は、創業の父和義氏のあとを受けた二代目社長。「確かな品質と即納体制でお客様に誠心誠意尽くしたい」をモットーに、営業から加工現場まで精力的にこなす49歳だ。

日々に新たに― 現場に営業に精力的な49歳の肖像

■現場はやはり会社の要

「いや〜、お待たせしました」と現れた原社長、聞けば作業服からスーツに着替えてお出でになったとのこと。社長業の本道である、顧客との折衝や営業や管理業務のほか、一日に何度かは工場での加工作業にも自らあたるといふ。「なにぶん小さな会社ですから、できることは自分もやらなければ」と満面の笑み。時には配送にも出かけるという。

昭和29年4月、沼津市生まれの原社長は、昭和52年山梨大学工学部機械学科卒業。卒業後は、愛知製鋼知多工場、ユーザーとの間の技術的な折衝にあたる技術営業的なセクションで勤務。2年間の勤務ののち昭和54年、東泉鋼機に入社。平成8年には、初代社長和義氏のあとを受けて社長に就任されている。

「もともと機械畑でしたし、工場勤務の経歴でも技術的な対応をする半営業的なセクションでした。だから、自分の会社でも生産現場にはマメに顔を出したい。安全管理の面からもやはり現場が会社の要ですから。」とほどよく日焼けした顔をほころばせる原社長は、颯爽としたスーツ姿の映える長身の持ち主である。

聞けば、地元の少年サッカーチームの指導員を引き受けていらっしゃるということで、4級審判員の資格も持つ。「ご存知のように静岡は“サッカーどころ”。県中央部にはあまたの強豪がひしめいていますから、なかなか僕らのチームもひとつ抜け出せない」。しかし、休日に少年た

ちと体を動かすことは、貴重なリフレッシュの時間になっているようだ。

■注意するのはやはり安全管理

東泉鋼機は県東部の金型メーカーをメインユーザーに、工具鋼を主力に加工販売する。特にフレームハード鋼では県下でも随一の取扱高を誇り、その他、構造用鋼や快削鋼の小口需要にも対応している。

会社の特色は、まずに即納。「まあ、小さな会社ですから価格競争には打って出れない。ですから、“適材”“適寸”でただちに“即納”といったところでしょうか」。そのためには、生産管理の徹底と、製造現場の問題点抽出とすみやかな改善が重要だと考えている。「そのために

も、自らが社内のすみずみを見てまわることが重要です。やはり、毎日現場に出ることが問題の発見と改善には一番ですから」と原社長。生産、営業とともに社内の管理で一番に気をつかわされることはなにか――原社長曰く、「やはり現場では安全面。小さなミスから大きな事故を招けば、人的な損失はもとより営業的な損失にもつながります。営業担当者には健康面の管理を言っています。すべて、自分にも当てはまることなんですけどね。気を引き締めねばいけません。」それはそうだろう、文字通り働き盛りの社長として、営業に現場に会社を支える屋台骨でもあるのだ。健康と安全にはくれぐれもお気をつけ社の牽引車としてご活躍してください。



東泉鋼機社屋全景

「日々に新たに」

原社長のモットーは「日々に新たに」。この言葉は、中国古典の「四書五経」の一節で「日日新」とされるもの。何事においても、同じことの繰り返しが多くなると、惰性に流れ、むなしく時間を費やすことが多い。しかるに、物事は日々新たに気持ちを引き締め意欲的に取り組むべし——といった意味で、古代中国・殷王朝を興した湯王は、顔を洗う器に「苟日新、日日新、又日新」（まことに日に新たに、日々に新たに、また日に新たなれ）の九つの文字を刻印し、毎朝その言葉を心に刻み、国政に臨む覚悟を新たにするとされる。

「私の趣味」

4級審判員の資格を持つサッカー指導のほかに、将棋とパソコン。将棋は最近はおっぱら空き時間を使ってネット対戦にいそむ日々。「時間の関係上、実際に盤を向かい合っの対局はなかなかありませんが、駒を介して誰とでも仲良く打ち解けられるのが将棋の魅力」と原社長。

パソコンは、PC8801やMZK2といったごくごく創生期のころからのパソコンマニア。「当時はシステムやハードも発展途上で、自分で組み立てメンテナンスする楽しみがありましたね」と。今でも現役で動いているオールドパソコンもあるというが、「自宅の一室は歴代のパソコンが眠る場所に。いわば、パソコン展示室。悪くいえば“PCの墓場”です。」と原社長。



2003年6月にはISO9001:2000の認証を取得

私の愉しみ

(株)ユアーズスチール 代表取締役／渡邊洋一

ゴルフに遊び、文学の虚空に想いを駆ける



■レジャーとしてもビジネスにも 役立つゴルフ

渡邊社長の余暇の愉しみは、読書とゴルフ。「まあ～、月並みな趣味ですが」と前置きされたうえで、それらへのお話を伺ってみました。

ゴルフは、商用ということもあるが、個人的には運動不足の解消を目的として始めたのがきっかけだ。現在では、週2回ほどの練習場通いに、月2～3回のラウンドプレーに出かけるのが渡邊社長のゴルフスケジュールだ。

コースに出るのは商用ベースのプレーも多いが、社内および関連のイベントでのゴルフも多く、親睦会的なプレーとしてはそれが大いに楽しみで、日々のストレス発散にも役立つという。

社内のゴルフコンペで定例化しているのは2カ月に1回、営業予算会議のあとでメンバーと行われるもの。“お疲れさん”と“今後の激励”を兼ねて費用は会社負担でプレーする。ゴルフ好きな社内のメンバーが集っているから、和気あいあいとしているが、ときには真剣にゲームに熱中することもあるという。もうひとつの催しは、年2回仕入先を中心とした、取引先関連の会社を招いてのゴルフコンペ。こちらは、普段おたがいに協力しあいながらビジネスをしている仲間同士の信頼関係を高めるのに大いに役立っているという。「昔はそんなにゴルフに興味はありませんでしたが、やはり営業のきっかけになるなど、ゴルフは商売上のプラスになることが多い」と渡邊社長は語る。もっとも、社内のゴルフイベントでは社内の上下関係を離れて真剣にゲームに興じるようで、「よくある

社内接待的な雰囲気はありません。ゲームに興じるときでも結構私の方が部下にこてんぱんにやられることが多い」と笑う。「まあ、小さな会社ですから上司へは本来の仕事で評価されているはずです。社内接待的な“小技”で評価されようという部下もいないということでしょう」と渡邊社長は語る。

ちなみに渡邊社長のゴルフの腕前は、ハンディ18。「振り回しているだけのせいか、なかなか上手くはなりません」と高らかに笑いながら話してくださった。

■読書にも体力!? いまだ文学青年

渡邊社長のもうひとつの趣味が読書だ。特に純文学への造詣が深く、学生時代から安部公房や大江健三郎などに熱中している。特に、大江健三郎に関しては、芥川賞受賞当時の「芽むしり仔撃ち」以来のファンで、ほとんどの作品を読破している。その魅力は、生の問題、課題といったテーマを主体に、形にはまらない捉え方で読む者に非常なインパクトを与えながら、読後も考え込まれるような問題提起だという。「ある意味で、20世紀の日本文学のピークをなした作家と作品群だと思います」と渡邊社長は言う。

もっとも、最近では司馬遼太郎などの歴史物の大衆文学もずいぶんと読む。「やはり、大江氏とか安部氏とかの作品は重いですから、ある程度こもりきりになって没頭しないと読めないものが多いですから」と笑う。読むからにはテンションを作品の方へもっていかなければいけないとい

う。読書するにも結構な体力と気力が要求されるから、「最近では時間の都合上ちょっと遠ざかっています。歴史物を拾い読みしたり、駅の売店に出張時の車内でのななめ読みに最適な文庫本のたぐいを読み散らかしています」と笑いながら話された。

渡邊洋一氏略歴

県立小倉西高卒業後、東京でいくつかの職業を経験。昭和49年、地元北九州のツツミ金属（株）に入社。主に営業畑を歩み、平成元年7月独立。（株式）ユアーズスチール設立。

構造用鋼、ステンレス鋼、工具鋼などの各種マテリアルの納入から、加工、熱処理など、さらには関連部材の調達などユーザーのさまざまなニーズに対応するため、コンビニエンス的な手法で営業展開中。昭和23年10月26日小倉市生まれの55歳。



ユアーズスチール本社外観

理事会・委員会報告

第31回運営委員会

平成16年1月23日（金）

グランドヒル市ケ谷（出席者17名）

- ①中期計画とその実施状況について
- ②支部報告
- ③委員会報告

第19回内外交流委員会

平成16年2月24日（火）

大阪・鉄鋼会館205号室（出席者10名）

- ①平成16年度委員会事業計画（案）について
- ②平成16年度予算（案）について
- ③中国視察研修の具体的な承認事項等
- ④各支部の内外交流部会の活動状況の報告

第3回広報委員会

平成16年2月26日（木）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室

- ①広報誌「すてぃーる」23号について
- ②平成16年度事業（案）・収支予算（案）について
- ③「はがねの日（仮称）」について

第7回青年部会・正副部会長会議

平成16年1月23日（金）

グランドヒル市ケ谷（出席者10名）

- ①平成16年度委員会事業計画（案）・収支予算（案）について
- ②第5回青年部会運営委員会開催について[3月19日（金）名古屋開催の予定]

人材育成委員会 特殊鋼販売加工技士検定試験委員会

平成16年2月16日（月）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室

- ①特殊鋼販売加工技士（実務編）試験問題選定
- ②今後の日程報告

調査研究委員会 第1回将来ビジョン等に関するワーキング・グループ会議

平成15年10月27日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室（出席者12名）

- ①グループリーダーの選出
- ②全体計画の「スケジュール」説明 I D R／三浦専務理事
- ③メンバー報告

調査研究委員会 第2回将来ビジョン等に関するワーキング・グループ会議

平成15年12月4日（木）

東京・鉄鋼会館（社）特殊鋼倶楽部会議室（出席者14名）

- ①第1回ワーキング・グループ会議結果の報告とまとめ
- ②業界のチャンネル図についてメンバー全員による報告と検討
- ③第3回ワーキング・グループ会議の宿題について

調査研究委員会 第3回将来ビジョン等に関するワーキング・グループ会議

平成16年1月29日（木）

東京・鉄鋼会館（出席者15名）

- ①第2回ワーキング・グループ会議結果の報告
- ②「卸売業者（われわれ）の経営と経営戦略はどう動くか」についてメンバー全員による報告と検討
- ③中間報告書のスケルトン（案）の検討

1 共通通い箱「おかよちゃん」鉄網製ご利用御願い

鉄網製のリーフレットを作成して会員各位にも、お送りしましたのでお目にとまったかと存じますが、協会標準規格各種をご利用いただければ幸いです。

会員様向けにはキャンペーン価格でご提供しております。

価格は (大) 6,500円
(中) 5,250円
(小) 3,450円



社団法人全日本特殊鋼流通協会
JSP
http://www.zentokkyo.or.jp
E-mail: zentokkyo@jpo-globe.or.jp

共通通い箱
おかよちゃん

従来の規格に加え、新規格を標準採用いたしました

●鉄網製(小)製品仕様

■黄色塗装 ■折りたたみ不可 ■規格は正会員一般共通です
■規格・・・3.1×φ ■全網ピッチ・・・30×30φ ■枠線8.0φ

従来の規格に比べ、内高を深くし使いやすい仕様になりました

●鉄網製(大)・(中)製品仕様

■黄色塗装 ■折りたたみ可能 ■全特協のスタッカー付き ※ご希望によりスタッカーは、はずすこともできます。

●鉄網製全規格

呼称	呼称寸法	W(幅)	L(奥)	H(高)	積載重量	自重	価格
大	外寸	1000mm	800mm	505mm	1000kg	40kg	¥6,500
	内寸	960mm	760mm	350mm			
中	外寸	800mm	500mm	540mm	500kg	30kg	¥5,250
	内寸	760mm	465mm	400mm			
小	外寸	800mm	500mm	382mm	300kg	27kg	¥3,450
	内寸	770mm	460mm	250mm			

※写真は、小です。

共通通い箱「おかよちゃん」鉄網製注文書

◎ご注文は以下の番号へFAXして下さい。

FAX 03-3669-0395 担当：渡辺

発注月日 平成 年 月 日

貴社名 ()
発注責任者名 ()
部署 ()
電話番号 ()

納入先住所 〒

受け取り責任者名 ()
部署 ()
電話番号 ()

数量

鉄網製(大)(内寸 960×760×350)		個
鉄網製(中)(内寸 760×465×400)		個
鉄網製(小)(内寸 770×460×250)		個

ご希望納期 平成 年 月 日

2 業界の重鎮とお別れ

福岡富司・(株)福岡ハガネ商店社長ご逝去

(株)福岡ハガネ商店社長/福岡富司氏は、病氣療養中でしたが、2月4日午前3時46分、逝去されました。享年65歳。通夜・告別式は社葬として浅草「来応寺」でしめやかに行われました。葬儀委員長は、全特協・三上会長。会葬のお礼に三上会長は「全特協の理事で、総務委員会委員長として業界の要の人物で公私共に大所高所から数々のご指導をいただきました。唯々残念でなりません。」と述べました。

氏は、全特協の前身である全日本特殊鋼販売組合連合会(全特連)時代から業界の要職を歴任し、全特協の法人化の際には、東京特殊鋼販売組合の代表として法人化推進運動の中心となり活躍されました。ご冥福をお祈りします。

編集後記

本年初めての「すていーる」をお届けします。会員の各地区の新年賀詞交換会では、今年は景気に回復の兆しがあるためか、皆様に笑顔が見られました。確かに、全特協の経営環境等に関するアンケート調査や、無記名アンケート調査では、我々の業界でも明るさが今後とも続くことが予想されます。しかし、最近の原材料高騰による鋼材の価格値上げを、ユー

ザー各位にご理解いただくことが急務となっています。会員相互の信頼関係の上、この難題に取り組みましょう。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／竹内 誠二